

2020年

ホームページへGo!→
スマホで教室だよりが見られます



教室だより 1月号

公文式本市場教室 火3~7 時木 2:30~6:30 TEL 61-4936(上平方)

横割教室 月・水 3~7時 TEL 61-8891(福島方)

指導者: 新妻ゆき子 携帯 090-2260-0671

Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ <http://www.yukiko-kumon.com>

【公文式は「働く姿勢」に通じる力を育てる】

あけましておめでとうございます。

今年も教室では、お子さま一人ひとりが自分の力で学び続けていくことを、指導者・スタッフが一丸となって応援させていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

公文式学習で身につく「処理力」は将来「熱心さ」「仕事への情熱」として、「思考力」は「ロジカルシンキング（論理性）」につながると期待されることが、研究から明らかになってきていることを昨年末からシリーズでお伝えしています。3つ目は「修正力」です。公文式の学習では採点されて「レ」印がついた解答を、全部消してやり直すのではなく、間違い部分を見つけそこから訂正することを大切にしています。どこまでは合っていて、どこで間違えたのかを探し修正する力は、学習を続けている途中で壁にぶち当たった時に、それを受け入れ、根気強く自分と向き合う構えができることにつながります。そしてこの「修正力」は、「働く姿勢」において、あきらめずに、手を尽くして目標を達成しようとする力、つまり「課題をやりきる力」や「粘り強さ」を養うことにつながるのです。

公文式の創始者・公文 公（くもん とおる）先生の言葉より

“「可能性の追求」が目指すもの”

公文式は、年齢や学年の枠にとらわれない個人別の学習法です。ですから5年生でも6年生でも、あるいは中学生でも、必要があれば小学校低学年の内容から学習を始めますし、逆に小学生だからという理由だけで、方程式や因数分解を学習してはだめだなどと足踏みさせることもしません。そして、いずれの場合も、できるだけ早く学校で習っているところより先の段階に自習で進んでいくように指導します。子どもたちは、いちいち習わなくても自分で「やればできる」という体験を積み重ねていくことによって、もっている能力を最大限に発揮していくことができます。子どもたちには自分の可能性がどれほどすごいものであるかを知ってほしいと考えています。公文式は、子どもたちがちょうどのところを自習し、自らの可能性を追求し続け、自分の人生を力強く切り拓く土台となる力を身につけてほしいと願っています。

2020年 1月の学習日

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
日	月	火	水	木	金	土
			1 元日	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13 成人の日	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

本市場教室日□

横割教室日△

保護者様へお願い。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

1月分の会費引き落としは12月30日(月)です。よろしくお願ひいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。

教室からご家庭に連絡される生徒さんの場合は固定電話・指導者携帯電話・メール等はいずれも10円納入願ひます。

*学習終了後、学校の宿題をやってもかまいませんが、おしゃべりしたり、だらだらやる子は、即退出してもらいます。ご了承ください。

*ゆき子の一言コラム

公文の繰り返し学習は何をするの？

「公文のくりかえして学習させる方法は、脳を刺激して思考力をアップさせ、繰り返し学習することで、脳を活性化するためです。「これは前にやった問題で、簡単だ！」か、スピードと考える力が付きます。

スポーツで、野球やゴルフ、サッカーなどが上手くなるのに、ランニングや筋トレが抜かせませんが、この毎日基本的単純なトレーニングをちょっと怠けてしまうと、人によっては、上達しないというよりレベルが落ちます。

子どもにとっては、毎日のトレーニングが公文式の繰り返し学習です。そしてそれが宿題です。

公文のない日は、自分で前に習った学習を（復習）を宿題という形で学習させ、怠けないというより、忘れさせないというトレーニングが宿題ですので、ただなんとなくやらせているというわけではありません。

自分で学習して、答えを導くという大事な行為ですので、宿題は決めた時間にしっかりやらせてください。

公文の学習の基本は「自学自習」です。公文の教材はスローステップで作成されていて、教えられなくても教材の順に読んで解いてゆけば、自分一人で出来るように配慮されています。公文ではまず、答えの出し方のヒント、問題の解き方の課程でどこが間違っているのかを教えます。本当にわからなくて困っているときや、新しい内容を学習するときはマンツーマンで徹底的に理解するまで教えます。そして出来るようになるまで繰り返し練習します。

だから、一人でできないはずはありません。特に小さい子供さんは親御さんがつきっきりで確認してください。

答えうんぬんよりも、一人でしっかり座って、時間を計ってやっているかの確認だけです。

要領のいい子は、毎日のプリントはさぼって、当日3日分とか、まとめてやってきて平気な顔で提出します。

小さい子、特に4年生以下は任せないで親の監督が必要です。（やっているふりをして、ゲーム等で時間をつぶしている子もいます。）

同じ内容を何回も繰り返す

なぜ同じ事を繰り返すのですか？よく聞く質問ですが、ピアノやスポーツクラブのスイミングも繰り返して練習しませんか？これと同じ事なのです。

1回目はやることに必死！2回目は理解しつつ解いていく。

3回目は自分のペースで解いていく・・・。

個人差はありますが、この繰り返しによって難解な問題も自分のものとして使いこなせるようになるのです。

小学1年生が足し算に困っていても、大人達はスラスラ出来ますよね。

これは、過去の反復練習の成果です。

確実な学力にと、さらに自分のものにするための反復練習なのです。

「解るのは簡単！出来るのは大変！」なのです。

5枚のプリントを学習するのに、10分で出来る子もいれば30分以上もかかる子もいます。

大人にも言えますが、仕事でも一つのことをテキパキと1時間で仕上げる人もいれば、2時間以上かかる人もいます。家事も同じことが言えます。

1日は24時間しかありません。やるべき事は早くやってしまっ、その後は、自分のやりたい事に時間を使った方が有効なはずです。

集中力を増し、作業能力をつけテキパキと学習が出来るように時間を計るのです。

すこしは分かってもらえましたか？

それで指導者からのお願いです。

宿題のプリントの最初のページに、日付・名前・始めた時間・終わった時間をきちんと記入させてください！

何回も言うようですが、守れていない子がいますので。

私のほうも、もしそのプリントを解くのに時間がかかっていけば、まだ理解が足りないとか、いろいろな推察ができ今後のレベルアップにも役立てることが出来るはずですので、しっかり守らせてください。

①はきものはきちんとそろえよう！

②あいさつは おおきなこえで はっきりしよう！

③もちものには なまえ をかきましょう！

④でんわをかりたら かならず でんわ代10えんいれてください！